

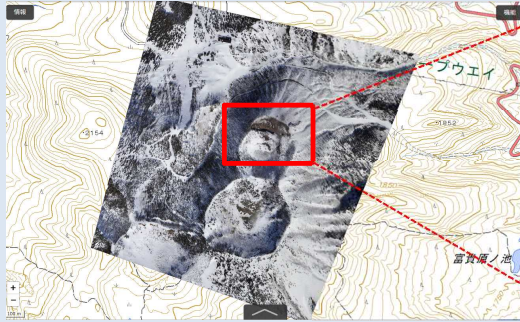
今回の感謝状贈呈の対象となる災害の概要

○草津白根山の火山活動

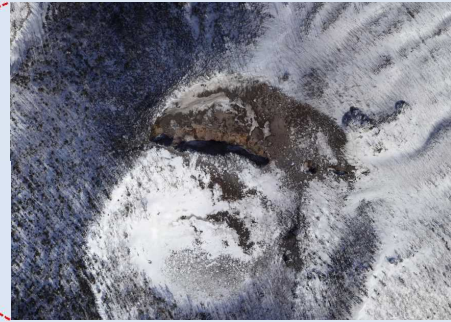
平成 30 年 1 月 23 日 9 時 59 分頃、草津白根山（本白根山鏡池付近）で噴火が発生し、鏡池付近の火口から 1 キロメートル以上飛散する噴石が確認された。噴火直後から火山性微動・火山性地震が継続し確認された。また本白根山の麓では降灰が確認された。

<功績の概要>

○無人航空機による本白根山周辺の「空中写真の撮影」を実施



空中写真（本白根山）の撮影範囲



噴火後の鏡池北側火口付近

○平成 30 年 7 月豪雨

平成 30 年 7 月、梅雨前線や台風 7 号の影響により長時間雨が降り続き、中国・四国地方の 7 月の月間降水量は平年値の 2~4 倍となり、岡山県・広島県の約 6 割の観測点（アメダス）で 48 時間降水量が観測史上第 1 位を記録した。この記録的な大雨により、西日本を中心に河川の氾濫や土砂災害が数多く発生した。

<功績の概要>

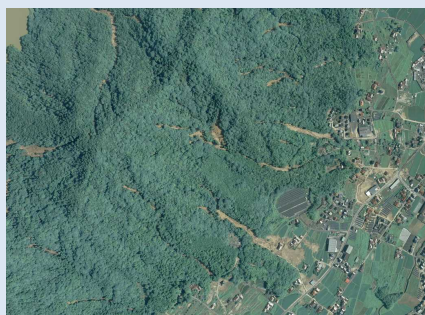
○被害の状況を把握するため、「空中写真の緊急撮影」を実施



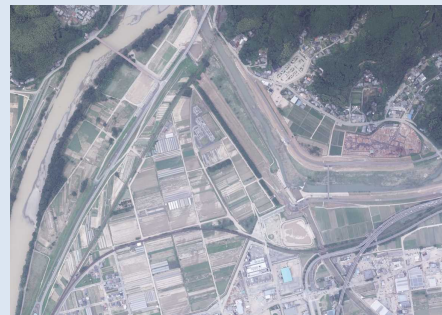
空中写真（竹原・三原地区）



空中写真（広島坂町地区）



空中写真（東広島地区）



空中写真（大洲地区）

○平成 30 年北海道胆振東部地震

平成 30 年 9 月 6 日 3 時 7 分、胆振地方中東部、深さ 37 キロメートルを震源とするマグニチュード 6.7（暫定）、最大震度 7 を記録する大規模な地震が発生し、厚真町を中心に広域で土砂崩れが発生し、明治以降の主要な地震災害の中で最も多い崩壊面積となった。また氾濫平野・谷底平野の一部地域では液状化などが発生した。さらには道内全域での停電によるライフラインの寸断など、広範かつ多大な影響が生じた。

〈功績の概要〉

○基本測量成果改定のため、「測地基準点（水準点）の測量」を実施



水準測量実施路線図



水準測量（胆振地区）



水準測量（胆振・日高地区）



水準測量（日高地区）



水準測量（胆振・石狩地区）

○被害の状況を把握するため、「空中写真の緊急撮影」を実施



空中写真（厚真地区）



空中写真（安平地区）